

**FITTING CONSTRUCTION OF TERMINAL COVER OF SEAT  
SLIDERAIL**

Patent Number: JP60078835  
Publication date: 1985-05-04  
Inventor(s): KONDOU NOBUAKI; others: 02  
Applicant(s):: NISSAN JIDOSHA KK; others: 01  
Requested Patent: ☐ JP60078835  
Application Number: JP19830185975 19831006  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B60N1/08  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PURPOSE:**To prevent any possible injury of the foot, the shoe tip and so forth of a passenger on the rear seat by capping the terminal part thereof with a cover member.

**CONSTITUTION:**An upper rail bracket 1 is tightened to an upper rail 2 by caulking the bracket via a hole 3 as to cover the upper rail 2 and is bolted to a seat cushion base part 4 via a hole part 5 made on a the upper face of the bracket 1. A cover 13 has a projection part 10 and a closing part 11. The projection part 10 is inserted into the space 14a defined by the upper rail 2 and the inner face of a beat part 14 formed at the side rear part of the upper rail bracket 1 while the closing part 11 is caught by the terminal part 15 of the rail 2 to close it. The cover member 13 is thereby retained at the terminal part of the upper rail, hence preventing any possible injury of the foot, the shoe tip and so forth of a passenger on the rear seat.

Data supplied from the esp@cenet database - I2



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-78835

⑤ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)5月4日

B 60 N 1/08

Z-8008-3B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 シートスライドレール端末カバーの取付構造

⑮ 特 願 昭58-185975

⑯ 出 願 昭58(1983)10月6日

⑰ 発 明 者 近 藤 信 明 厚木市岡津古久560-2 日産自動車株式会社テクニカル  
センター内

⑱ 発 明 者 比 良 和 美 厚木市岡津古久560-2 日産自動車株式会社テクニカル  
センター内

⑲ 発 明 者 関 野 敬 生 平塚市立野町2の20

⑳ 出 願 人 日産自動車株式会社 横浜市神奈川区宝町2番地

㉑ 出 願 人 市光工業株式会社 東京都品川区東五反田5丁目10番18号

㉒ 代 理 人 弁理士 丹羽 宏之

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

シートスライドレール端末カバーの取付構造

## 2. 特許請求の範囲

アッパーレールを覆うアッパーレールブラケットの端部側の側部にビード部を形成し、該ビード部の前記アッパーレールとの空間内に挿入係止する突出部と、前記アッパーレールの端部を掩う覆合部とより形成するカバー部材を設けたことを特徴とするシートスライドレール端末カバーの取付構造。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔技術分野〕

この発明は、自動車のフロントシートに設けたシートスライドのアッパーレールの端末カバーの取付構造に関する。

## 〔従来技術〕

従来のシートスライドのアッパーレールの端末カバーとしては、例えば実開昭56-113040を示す第1図および第2図がある。

シートブラケット1の上に固定レール2を載置し、この固定レール2の上にアッパーレール4を摺動せしめ、アッパーレール4の上部に設置したクッションを前後に移動させる。この際クッションと共に移動するアッパーレールの端部が露出していると危険なのでカバー部材6で掩う。カバー部材6から延出するロッド7によつて、アッパーレール4の横に設置したブラケット8を介してカバー部材6はスライドレールと平行に前後に伸縮し、カバー部材6をレールの端部に着脱自在に冠装するように支承せしめ、コイルスプリング10によつてロッド7は強制的に付勢され、レール部にカバー部材6を冠装するものである。このカバー部材6を冠装することによりシートスライドのアッパーレールが後部へ摺動しても靴先や足部を保護し、傷つけるような恐れはなくなる。

## 〔発明が解決しようとする問題点〕

しかしながら、このような従来のスライドレール端末カバーにあつては、ロッド7、ブラケット8、ワッシャ9、コイルスプリング10等を必要

とする構成となつていたため、構造が複雑であり、組立工数がかかり、従つてコストが高くなる、また、ロッド、スプリング、ブラケットがスライドレールの側面に突出するので、この個所において靴先や足部を傷つけ易く、そしてシートの形状によつてはスライド量が増加するとロッドを長くする必要があり、ぐらつく恐れが出て来るといった問題点があつた。

〔問題点を解決するための手段〕

この発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、アッパーレールを握うアッパーレールブラケットの端部側の側部にビード部を形成し、該ビード部内のアッパーレールとの空間内に挿入係止する突出部と、アッパーレールの端部を掩う覆合部とより形成するカバー部材を設けることにより前記問題点を解決することを目的としている。

〔実施例〕

以下、この発明を図面に基づいて説明する。第3図はこの発明の一実施例を示す斜視図で縦型レ

ールの場合であり、第4図は第3図のIV-IV線における断面図である。

アッパーレールブラケット1はアッパーレール2を握うようアッパーレール2と孔部3を介してカシメにより締着し、シートクッション基部4と上面の孔部5を介してボルトにより締着してある。アッパーレール2はリヤーブラケット6上にカシメ手段7で締着したロアレール8と係合し摺動する。シートクッションを後部に移動させるとアッパーレール2は共に後部に摺動し、アッパーレールの端部9が露出していると後部座席の乗員の足部や靴先を傷つけることになる。それで、本発明は突出部10、覆合部11を備えたカバー部材13を構成し、突出部10をアッパーレールブラケット1の後端の側部に形成したビード部14内のアッパーレール2との間の空間14a内に挿入し、覆合部11をアッパーレール2の端部15に引っかけて覆合することにより、カバー部材13をアッパーレール端部に係止するものである。

〔他の実施例〕

第5図は他の実施例を示す斜視図であり、第6図は第5図のVI-VI線における断面図である。

第5図は横型レールの場合を示す。カバー部材16は2分割にし、各カバー部材16には突出部16aと覆合部16bとを有する。

カバー部材16の突出部16aをアッパーブラケット19の後端側の側部に形成したビード部17内のアッパーレール20との間の空間17aに挿入し、アッパーレール20の端部18を覆合部16bで掩つて、アッパーレール20のエッジによる損傷、危険を防止するものである。尚図中21はロアレールを示す。

〔発明の効果〕

以上、説明してきたように、この発明によれば、その構成をカバー部材の突出部をアッパーブラケットの側部に形成したビード部内のアッパーレールとの間の空間に挿入し、アッパーレールの端部をカバー部材で掩うようにしたため、後部座席の乗員の足部、靴先等を傷つけることがなく安全であり、見栄えもよい。又、取付もワンタッチで可

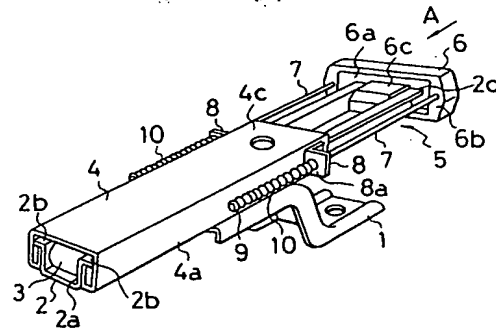
能であるから工数もかからず安価にでき、更にビード部とアッパーレールとの間の空間に差し込むため、カバー部材が両者で挟持され落ちることもなく、カバー部材の形状もシンプルで他の取付部材を要しないので便利であるという効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

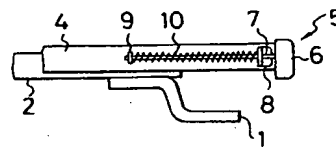
第1図、第2図は従来のシートスライドのアッパーレールの端部カバーの取付構造を示し、第1図はその斜視図、第2図はカバー部の側面図を示す。第3図は、本発明の一実施例を示す斜視図、第4図は第3図のIV-IV線断面図、第5図は他の実施例を示す斜視図、第6図は第5図のVI-VI線断面図を示す。

- 1 …… アッパーレールブラケット
- 2 …… アッパーレール
- 6 …… リヤーブラケット
- 10, 16a …… カバー部材の突出部
- 11 …… カバー部材の覆合部
- 13, 16 …… カバー部材

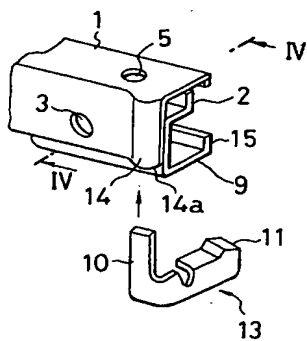
第 1 図



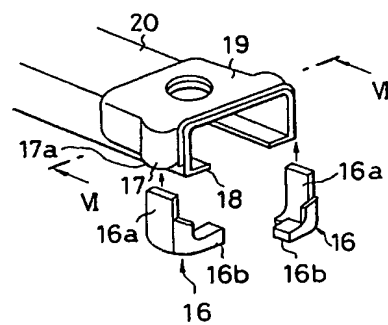
第 2 図



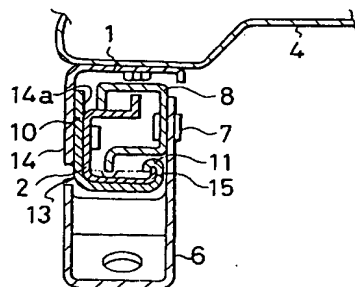
第 3 図



第 5 図



第 4 図



第 6 図

